

児童生徒の健やかな成長を願って

学校だより



岡山県立西備支援学校 R7.7.18 発行 NO. 49 (令和7年度第4号)

地域とともにある学校 (1学期の校外での学習を振り返って)

コミュニティースクールとして、地域資源を生かして、校外でさまざまな活動を展開し、児童生徒が活躍しています。

小学部では、学校の近くにあるお店まで歩いて行って、自動販売機で卵を購入したり、公共交通機関を使って笠岡のお店で買い物をしたり、福山で外食を経験したりなどしました。

中学部では、神島外中学校を訪問し、活動を通してお互いの良さに気づいたり、自分の気持ちを表現したりすることができました。また、公共交通機関を使って福祉事業所を訪問し、「働く」ことについて学ぶ機会もありました。

高等部では、各作業班による、青空市場や老人施設での販売、事業所や施設の清掃、一人ひとりが異なる施設・事業所での現場実習など、慣れない場所で、作業学習等で培ってきた「働く力」を発揮しました。

生活年齢に応じて、校内で学んだ力を校外で発揮する機会を設け、日々の学習の成果の確かめをするとともに、公共の場を意識し、緊張感の中で目的を果たしたり、地域の方から認められたりすることで、自己肯定感を高め、新たな活動への意欲を育てています。



自動販売機で
卵の購入



スーパーでの買い物



レストランでの食事



自動券売機で
切符の購入



学校間交流
(神島外中)



施設訪問
(作業体験)



青空市場での販売



地域型実習
(扶桑薬品工業)

セイモンマルシェ

セイモンスクール「地域セイモンプロジェクト」の新企画として、地域の方に学校に足を運んでいただき、本校児童生徒が育てた野菜や作業学習の製品等を販売する活動『セイモンマルシェ』が7月10日(木)に本校敷地内で開催されました。チラシを作成して地域の方に積極的に広報した結果、当日はたくさんのお客様にご来店いただき、準備した商品は完売する大盛況で終了しました。



セイモンマルシェに取り組む中で児童生徒は、地域の方から直接「ありがとう」とたくさん声をかけていただきました。また、「セイモンマルシェ」に向けて仲間と協力してやり遂げたことは、児童生徒一人一人の自信につながると共に、自己肯定感も大きく育まれたように感じました。

今後も「地域セイモンプロジェクト」では、地域の方と積極的に関わり、地域に貢献していくことで、教室だけでは得られない実感のある学びを追求していきたいと思います。そして「卒業後も伸びゆく力の育成」に向け前進していきます。



*駐車場の誘導や会場の片付けなど、学校支援ボランティア14名の方にご協力をいただきました。

セイモンスクール推進本部

本年度も、秋田さんと澤田さんが地域学校協働活動推進委員として、セイモンスクールを推進していくためにご協力をいただきます。本年度は教職員全員でアイデアを出し合い、実現可能なものから積極的に取り組んでいきます。テーマは「気軽さと継続性」です。



【お知らせ】

保護者の方や地域の方に学校のことを御理解いただくために学校のブログや Facebook、で、学習の様子や学校の情報を発信しています。ぜひ、御覧ください。

★西備支援学校 ホームページ

詳細はこちら→



★西備支援学校 Facebook

詳細はこちら→

